



巨理町議長と関係者との意見交換

2日目は、巨理町のいちご団地を視察しました。巨理町も山元町と同じ東北沖地震による大津波によって農地の約半分の3,500haが浸水し大変な被害を受けた町です。

復興については、特産品のいちごを、国の交付金により「巨理いちご団地」を3か所、造成面積68.5ha、栽培

面積23haを整備したとのことです。その中のモデル施設として整備された「巨理いちごファーム」を視察研修いたしました。ここは、高栽培により夜電気をつけ、周りに温水を通してベッドを温め、水の使用を少なくするなど、様々な技術を導入して、早くおいしいいちごを収穫しているそうです。

今回の視察研修の中で「農家を離れた方はいるか」聞いたところ、農家離れせず、むしろ若い方が後継者として育っているそうです。

2日間の視察研修で、関係機関の協力もあるが、両町とも震災に負けず復旧・復興を短期間で成し遂げたところがすごいと思いました。

もし、五霞町で大災害が発生した場合のことを、日々考えながら過ごしたいと思います。

(研修委員 新井 庫)

※研修内容については、町執行部に対して研修報告会(7月21日)を実施しました。



いちごハウスの前にて